
放課後のパロディ。

桜莓*...*

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

放課後のパロディ。

【Nコード】

N4663H

【作者名】

桜苺*……………*

【あらすじ】

私は入学したての放課後、誰も居ない屋上で不思議な体験をした。それからというもの、いつもいつも不思議な世界へ行くようになって……………

全ての始まり。 - プロローグ -

放課後は私のパロディ世界…

私とあなたの、ね。

* 4月

私はとんでもなく有名な学校へ入学する。

その時から私はこの力を手に入れる。

「……で、次！23番のやつー」

お約束と言っていていい自己紹介がついに回ってきた。

「えーと、23番柊亜澄ひいらぎ あすみです、よろしく…」

こっぴうのも結構慣れてきた。

小学校の頃なんて、いつもいつも自己紹介が苦手で
- - - - -

って、誰に話してるんだろ私…

そんなことを考えていると、いつの間にか一番最後の奴に順番はまわっていた。

「30番、わたりけんた巨健太です、よろしく」

変わった奴。

*休み時間

偶然…いや、これは先生の仕業なんだろうな、私と同中の仔が一人もいなかったため、

アニメの原作ラノベをパラパラとみていた。

最後の1Pをめくろうとしたその時だった。

悪魔の声が私の耳にささやいた。

「何読んでんのー？」

あの最後に自己紹介した奴、誰だっけ。亘とかいう苗字の男子だった。

「ラーノーベ！別にいいじゃない！あっち行ってよ」

「ムキになるとこ、かーいー」

「なッ／／／」

これって何て言うんだ、ああツンデレだっけ。

「バーカッ！もうひつついてこないでね？」

私は屋上へ向かった。

扉があいて…

「よオ！来てやったぜー」

健太…なぜに来る！

「あのねえ！来ないでよ！！！！」

「いいじゃん。てか、伝えたいことあんだよ！」

伝えたいこと？

「さっき聞いたんだけど、放課後誰も居ない屋上へ一人で来ると、妖精が来んだってー」

「なあに男のくせにロマンチックなことってんの!?!」

「いいから!そんでな、その妖精g」もういいから。じゃーね!!」

せっかく最後まで読めると思ったのに・・・

* 放課後

流石に帰る子はいたけど、嘘ついて屋上へ行くことにしてみた。

結構気になってたし？

がらッ

「ほーらやっぱ

り居ないゝかえろ！！！」

その時、立ちくらみのような、めまいのようなものが私を襲って -
- - - -

即・気絶。

- - - - -ここは何処？

「ここは貴方のパロディ世界」

目の前に妖精が居た。

頭の中で健太の言葉がぐるぐる廻る。

放課後誰も居ない屋上へ一人で来ると、妖精が来ん
だってー…

妖精？パロディ？世界…？
なの……？

何

「こっちだよ」

元で囁いた。

誰かが耳

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4663h/>

放課後のパロディ。

2010年10月10日02時44分発行